

TCAの合言葉 ①自転車で風を追いかけよう ②健康と友情の輪をひろげよう ③道と自然と文化に親しもう



## T C A ニ ュ ー ス

= 1994年2月発行 = 新年号【No. 81】

発行 東京サイクリング協会 広報委員会

〒110 東京都台東区上野3-8-8 ☎03-3833-3969

サイクリストの五楽 ①輪楽・自転車を楽しみ ②行楽・旅を楽しみ ③道楽・道を楽しみ ④友楽・友を楽しみ ⑤遊楽・遊びを楽しむ

### 3/27は春のサイクルスポーツ大会 多摩川べりへ集中サイクリング

三月の最終日曜日はTCA 吉例のサイクルスポーツ大会。もう春です。多摩川の土手に“土筆”の坊やが冬の眠りから元気に起きて、われわれを待っていることでしょう。毎年好評のつどいです。ご家族、お友だちを誘って皆さま元気に参加してください。

\*

主 催：日本サイクリング協会・東京サイクリング協会

主 管：東京サイクリング協会

後 援：日本自転車振興会

協 力：東京都レクリエーション協会

日 時：1994年3月27日(日) 11時30分～午後2時30分(雨天決行)

会 場：多摩川にかかる第三京浜自動車道路の「多摩川橋」と「二子橋」の右岸(川崎市側)多摩川橋よりの河原。(雨天の時は多摩川橋の下で行ないます)

集合場所：①丸子橋の右岸

②二子橋の右岸

メ モ：川の上流から下流を見て右手が右岸、左手を左岸といいます。

集合時間：①丸子橋は午前11時

②二子橋は11時15分

内 容：集合場所より係員が案内して会場の河原でバーベキュー・パーティを展開します。メニューは焼肉、焼きそば、芋煮鍋で温かく満腹満足できるものです。食後は福引大会や、腹ごなしの運動会など、楽しいプログラムをお楽しみください。(運動会は雨天のときは中止)

参加費：¥2,500(現地払い)

携行品：雨具、修理用工具類。

申し込み：3月15日までにハガキに住所、氏名、年齢、連絡電話番号、希望集合場所を記入して下記へ連絡してください。TCA会員は電話で結構です。

〒110 東京都台東区上野3-8-8

東京サイクリング協会「春のサイクリング係」 ☎03-3833-3969

注 意：①お問合せは協会までどうぞ。

②準備のつごうで、員数が狂うと困りますので必ず事前連絡を守ってください

③人数が多過ぎてお断りしなければならない場合は、5日前までに連絡します。その節はあしからずご了承ください。

④自動車は会場周辺に駐車できます。(進入路は二子橋西詰めから)



## 盛会だった1993年を送るサイクリストの集い

\*

12月17日午後6時半から東京原宿の東郷記念館で恒例の忘年会。盛装したりしなかったりの仲間が次々と到着。会場はビュッフェ形式の自由席で40席を用意、司会の高木恵子さんに促されて佐近会長が一年を振り返りつつ、躍進の94年への決意、なかでも関東甲信越ブロックラリーへの協力と、会員各位の健勝を呼びかけました。橋本副会長が乾杯の音頭をとって杯をあげたあとは、みんな料理のテーブルに参集、それぞれのお好みを取り分けては席に戻って歓談。永井英次さんのハーモニカ演奏に拍手を送り、さらに飲み食べ語っているうちに加藤副会長の中締め。記念館の宴会担当者は、「高校生並の量で準備をしておいたのですが、すっかり片づけて頂きました」と、褒めているのか呆れているのか、意味不明の評言を述べていました。

\*参加者氏名(敬称略・順不同)

千葉茂樹、小笠原淑夫、及川清、佐近光三、田辺貞、鈴木茂夫、篠崎行秀、橋本豊、千代間武雄、北川四郎、近藤貞夫、近藤武雄、北川常夫、中村洋一郎、吉井敏、森嶋一男、中村茂、川村光男、竹内初弥、色部一夫、高木恵子、渡辺康雄、得田惇一、藤田伸一、野村石治郎、田中三千代、磯部光博、石黒寛、太田大輔、武田俊夫、青柳一雄、永井英次、石村速夫、山田茂、池田宰、池田美河、加藤元彦、蓮尾哲男

## 『東京いいところ 自転車散歩～東京再発見～』

\*

第15回 93-12-19 =1993年最後のランは大井埠頭でした= 参加者 10名

12月19日は93年最後のフリーラン。灰色の雲が空を覆い肌寒い一日でした。TCA役員の中には94年の関東甲信越ブロックラリーに、素敵な東京を見て貰いたいという願望があります。レインボーブリッジは新名所の一つ、これをなんとか入れ込んだコースが組めないかと5月16日に引き続いて二回目の大井方面への走行企画です。

10時パレスCC出発、世話役の中村洋一郎さんを先頭に、まず芝の増上寺を訪問、隣接する丸山古墳を見物したあと一路大井埠頭へ。このコースは五月の国際ロードレースですっかりサイクリストにはお馴染みになっています。ブロックラリーの時、レインボーブリッジをどのようにして渡り、海の景観を楽しんで貰うか、みんな意見が出、結論は新春に持ち越しとして、潮風に震えながらみんな懸命にペダルを踏んで戻りました。

第16回 94-01-03 =初詣ランは日本橋七福神・深川七福神の二まわり= 参加者 25名

94年の初詣ランから元気にやろうと、1月3日午前9時過ぎにははやくも一人二人と仲間が集まり、定刻前には予定された全員集合。世話役の北川常夫さんを先頭に、中村洋一郎さんが列を監視、増田治男さんは最後尾にあってハンディトーカーで先頭と連絡。まず日本橋七福神は、小網神社の福祿寿・弁財天、茶の木神社の布袋尊、水天宮の弁財天、松島神社の大国主、末広神社の毘沙門天、笠間稲荷神社の寿老人、梶森神社の恵比寿神、宝田恵比寿神社の恵比寿神と日本橋部門を打ち上げ、新大橋を渡って深川へ。深川神明宮の寿老人、ところでこの神明宮にはTCAの秋庭保、山沢照夫、永堀健児のみなさんが地元の世話役として活躍していました。これは江東区レクリエーション連盟に加盟している各団体から、新年の七福神詣でのお手伝いに参加する習わしになっているからです。ご苦労さま。さて深川稲荷の布袋尊、龍光院の毘沙門天、円珠院の大黒天、心行寺の福祿寿、冬木弁天の弁財天、富岡八幡の恵比寿神と快調に走行。お昼には富岡八幡八幡境内で、無事走行と今年の関東甲信越ブロックラリーの成功を祈り、小笠原淑夫さん得意の一本締めで「シャン」。深川八幡、隣接する深川不動と参道は大賑わい。みんなそれぞれ好きにやって下さいと解散。強かな江戸っ子を自称する連中九人(高木康雄さん、中村洋一郎さんなど)は、永代橋西詰めの小公園まで走り、その近所のお店から酒、弁当、つまみを購入してきて、大酒盛り。酔いがまわると川風でさまし、またぐいと缶酒をあけて意気盛んでした。これだけお参りしておけばTCAのみなさんの安全と健康も大丈夫でしょう。

## 全国のサイクリストの声を背景に 輪行の無料化をJR東日本へ要望

関東甲信越の一都九県の各サイクリング協会の委任を受けて、今月半ば、鈴木茂夫専務理事が自転車旅行の際の有料手回り荷物切符の扱いを廃止して無料にしてほしいと、JR東日本に要望書を提出し、折衝をはじめました。

サイクリングが年々盛んになるにつれ輪行を楽しむサイクリストの数も増えています。「輪行」で自転車の電車への車内持ち込みをすると、有料手回り荷物切符を購入しなければなりません。これが無料になれば、全国のサイクリストにとってはとても喜ばしいこととなります。この経過は順次お知らせしていきます。

\*

東日本旅客鉄道株式会社 御中

関東甲信越ブロックサイクリング連絡協議会  
担当協会・東京サイクリング協会  
専務理事・鈴木茂夫

### 自転車の車内持ち込み無料化についての要望書

私たち関東甲信越の一都九県のサイクリング協会は、財団法人日本サイクリング協会（JCA）の都道府県支部であり、その協議機関として関東甲信越ブロックサイクリング連絡協議会を構成しております。

わたくしたちは自転車旅行を愛好している多くのサイクリストの要望を代表し、貴社にサイクリングの健全な発展にご理解頂き、現在、自転車旅行で鉄道を利用する際の自転車の車内持ち込みを有料手回り荷物とする扱いを改め、無料とされることを要望いたします。自転車の車内持ち込みについては、昭和二三年より特殊法人日本自転車振興会所属の競輪選手用の自転車について持ち込みが認められており、JCAの要望により昭和四五年三月一日、国鉄営業規則第三〇九条（有料手回り品）を改訂、JCAの発行する統一会員証を提示して有料手回り荷物切符を購入した者について承認するという経緯がありました。その後、昭和六〇年、JCAの統一会員証を所持していなくても、有料手回り品切符を購入すれば良いということになりました。

その一方で、自転車と同程度かそれ以上の寸法あるいは容量があると思われるスポーツ用具は無料扱いとなっています。

わたくしたちサイクリストは自転車を分解し輪行袋に収納して、車内持ち込みをしています。その寸法は、おおむねタテ70センチ、ヨコ90センチ、幅25センチ、容積にして15リットルから17リットル、重量にして10キログラムから15キログラムです。

輪行袋に収納した自転車は、車内持ち込みが無料とされている登山用リュックサック、スキーと関連用具、サーフボードなどと比較してみても、格段に大型もしくは重量があるとはいえません。したがって、自転車のみを有料とする積極的な理由はないと考えます。また、自転車を輪行袋に入れるという条件を守れば、他の乗客の安全をおびやかすこともありません。

以上がわたくしたちの要望です。ここに貴社の格段のご高配を期待してやみません。

以上

## 『タンデムサイクル研修会』のお知らせ

栃木県サイクリング協会の主催によるタンデムサイクルの研修会が行われます。

東京サイクリング協会でも、今年も4月、6月、11月に神宮外苑で『視覚障害者とタンデムを楽しむ集い』を計画しています。これから、タンデムサイクルの普及や、ボランティア活動をやってみようと思っ

ている方は是非参加してみてください。

\*

### タンデムサイクルの研修会要項

#### 1. 趣 旨

2人乗り自転車として知られているタンデムサイクル。

まだ我国ではある一部地域しか走ることが許されていないのが現状である。

栃木県の場合、条件付きながら4年前より許可されるようになった。まだ年一度の視覚障害者を後に乗せてのサイクリングが実施されているにすぎない。近い将来一般の人にも楽しく自由に走ることができるタンデムサイクリングの普及を願って、この研修会を実施しました。

#### 2. 主 催

栃木県サイクリング協会

#### 3. 後 援

(財)日本サイクリング協会、栃木県レクリエーション協会、栃木県自転車軽自動車商業協同組合、栃木県バイコロジー運動推進協議会、栃木県障害者スポーツ協会

#### 4. 期 日

平成6年2月19日(土)～20日(日) 1泊2日

#### 5. 会 場

宇都宮市サイクリングターミナル (森林公園内)

〒321-03 宇都宮市福岡町1074-1

TEL 0286-52-4497

#### 6. 参加対象および費用

心身ともに健全な18才以上の男女で交通ルールを守り自由に自転車に乗車できる方。

1泊3食……¥7,000 (サイクリング協会員 ¥6,000)

#### 7. 募集人員

30名 (満員になり次第締切ます)

#### 8. 講 師

(財)日本サイクリング協会指導員

#### 9. 参加上の注意

イ. 自転車に乗車できる用意のこと。

ロ. 本研修会は「(財)日本レクリエーション協会のインストラクター資格取得の対象となる講習会」です。

#### 10. スケジュール (変更の場合もあります。)

2月19日(土)	14時 集合、受付	2月20日(日)	8時～9時 朝食
	15時～16時 講義、ビデオ観賞		9時～11時 実走(赤川ダム周辺)
	18時～19時 夕食		11時～12時 まとめ
	19時～20時 情報交換		12時～13時 昼食後解散

#### 11. 申込・お問合せ下記へ

〒323 小山市小山 223-1 (大嶋方)

栃木県サイクリング協会

TEL 0285-27-7701 (20時～22時)

TEL 0285-49-3611 (12時～13時) (株)エイム・イワクラ内

FAX 0285-49-3600